

講師紹介

プロフィール

内藤洋子さん（ないとうようこ）

■1949年12月3日名古屋市生まれ。愛知県岩倉市在住。
愛知県立中村高等学校卒業。

12歳で父親を、17歳で母親とともに病気でなくすが、持ち前の負けん気と体力で家業の金物店を経営しながら高校を卒業。21歳からは薬局の販売員。23歳から愛知県警察の交通巡査員となり、28歳から41歳までは、夫と喫茶レストランを経営。一見脈絡のない転職を繰り返したようだが、40歳からエッセイを中心に執筆を始めると、すべての経験が役立つことに。

■デビュー作「わが故郷は平野金物店」（エフエー出版）は、NHKテレビで、「ようこそ青春金物店」として連続ドラマ化された。体験に基づく本音に徹した明るい講演は、全国各地からひっぱりだこ。

■日本ペンクラブ会員。日本エッセイストクラブ会員。岩倉市教育委員（委員長）。栄中日文化センター講師。東海ラジオ「源石和輝の土曜スタイル」パーソナリティー。

実弟の平野謙は元プロ野球選手。（中日→西武→ロッテ）現在は日本ハムファイターズの一軍コーチとして活躍している。



著書の紹介

- ◇「わが故郷は平野金物店」（エフエー出版）【自分史】
※NHK テレビで「ようこそ青春金物店」として連続ドラマ化（平成8年）
- ◇「おんな三四郎・83歳・宙をとぶ」（エフエー出版）
[聞き書き自分史]※毎日放送でラジオドラマに
- ◇「夢さえあれば」（KTO 中央出版）[エッセイ]
- ◇「握手して下さい」（KTO 中央出版）[わが故郷の続編]
- ◇「心はどこへでも」（エフエー出版）[聞き書き自分史]
- ◇「心はいつもわはは色」（JA 家の光協会）[自伝的エッセイ]
- ◇「チャンスはどこにでも」（日本経営者協会総合研究所）[エッセイ集]
- ◇「あ、これならわかる 自分史の書き方」（KTO 中央出版）
- ◇「女のモノサシ」（中日新聞社）[エッセイ集]

